

藤枝市文学館第32回企画展

平和への祈り

平野亮 彩絵画展

HIRANO RYOSAI

藤枝出身の反戦画家・没後1年回顧展

会期 2012年 6月9日(土)～7月16日(祝)



私は、将来、楽しい絵描きになろうと思ったのですが、いつの間にか戦を憎む絵描きになってしまいました。

東日本大震災と原発事故を受けて描いた遺作「核を怒る三不動の図」(2011)

期間
限定

まるきいりとし
丸木位里・俊作

「原爆の図」第1部～3部パネル展示 6月23日(土)～7月16日(祝)

藤枝市郷土博物館・文学館

〒426-0014 静岡県藤枝市若王子500番地(蓮華寺池公園内)

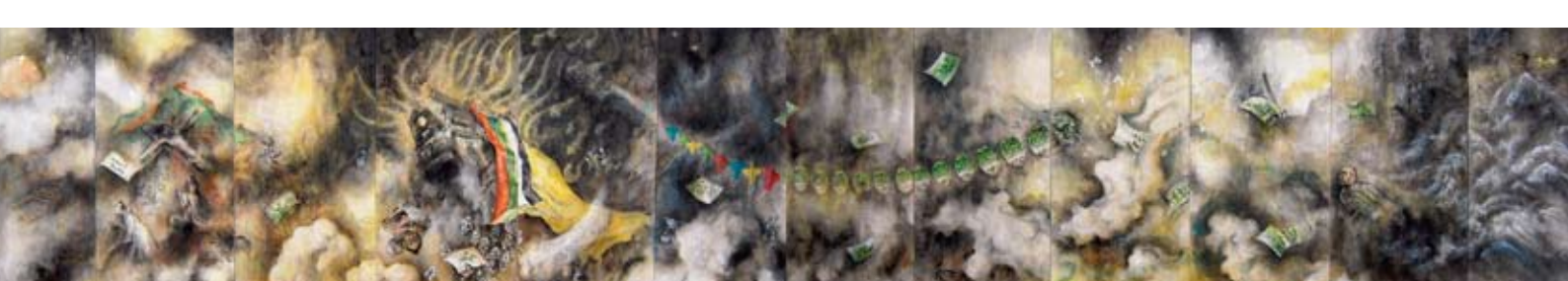
TEL: 054-645-1100 FAX: 054-644-8514

http://www.city.fujieda.shizuoka.jp/kyodomuse_index.html

■開館時間: 午前9時～午後5時 ■休館日: 月曜日(祝日の場合は開館)、祝日の翌日

■入館料: 大人200円、中学生以下無料(博物館・文学館共通)

■交通案内: JRの場合…JR藤枝駅から「新静岡行」バス10分、「蓮華寺池公園入口」下車、徒歩5分/お車の場合…国道1号緑町交差点経由、または藤枝バイパス(東から)藪田東IC、(西から)谷稲葉IC経由、新東名・藤枝岡部ICから10分



「炎える王道楽土」屏風 〈六曲一双〉(2008年)

たえず、あの地獄の様な戦争で 死んだ同志のことを思って

2011年5月25日、平野亮彩は自らの人生を振り返り
こう記しました。平野が逝去したのはその1週間後、6月
1日のことです。

自身が軍隊で経験した理不尽さ、戦死した兄、従兄
弟、友人たちへの鎮魂の思いは強く、その思いに動かさ
れて多くの大作が描かれました。

今回の企画展では、平野亮彩没後1年回顧展として超
大作「炎える王道楽土」をはじめ、ふるさと岡部と亡き兄
を思い描いた「故郷へ帰る英霊」などを特別公開しま
す。また、こうした平和への祈りがこめられた作品の数々
とともに、昔話の挿絵や明るい色彩の作品、好んで描い
た大輪の牡丹など、優しい人柄が偲ばれる作品もあわせ
て展示します。



「故郷へ帰る英霊」(2007年)

ひらのりょうさい

平野亮彩 (1922-2011)



本名・平野貞一。藤枝市岡部町出身。戦時中は海軍航空隊に所属、多くの戦友を亡くした。戦後は印刷会社に勤務し、絵本の挿絵や百科事典のイラストを描く絵師として活躍。職場の同僚であった画家・小山田二郎に師事する。多忙を極めた40代後半、体調をくずし休養中に「原爆の図」で知られる丸木位里と出会う。位里に誘われて埼玉県東松山に移し、この頃から「自分の絵」を描きはじめる。丸木位里・俊夫妻の影響を受け大作を数多く残した。2011年6月1日逝去。本人の希望により出身地岡部に眠る。



第3部「水」(部分)
丸木美術館蔵

期間限定

丸木位里・俊「原爆の図」
パネル展示

6月23日(土)～7月16日(祝)

第1部「幽霊」

第2部「火」

第3部「水」



「龍勢」(2007年)



「国宝 白杵石仏(磨崖仏)」(制作年不明)



「こどものまつり」(制作年不明)



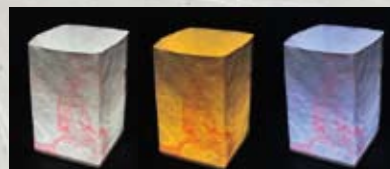
「龍の小袖」(1993年)

ワークショップ

たなばた

七夕ミニチュアランプ作り

手作りマーブル紙で、七夕の夜を照らすかわいいミニチュアランプを作りませんか。
と き／6月30日(土)、7月1日(日) 各①13:00～14:00 ②15:00～16:00
ところ／博物館・体験学習室 定 員／各10名 参加料／200円
申し込み／6月15日(金) から電話で郷土博物館・文学館へ



灯りは6色に変化します。